令和3年6月18日

貧酸素水塊速報（2021年）

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター　千葉県農林水産技術会議
神奈川県水産技術センター　○ 内湾底びき網研究会連合会
【協力】　千葉県環境研究センター　○ 東京都環境局
第三管区海上保安本部　（国）国立環境研究所
○ モニタリングポスト（海上保安庁，国土交通省 関東地方整備局）
（今回の速報は"○"の機関の観測データを使用して作成しました）

令和3年6月15日観測結果

貧酸素水塊は湾奥を除く内湾北部から川崎沖にかけて広くみられ、DOが0.5 ml/Lを下回る海域が先週に比べて拡大していました（図1）。

縦断ラインの鉛直分布をみると、内湾北部中央において、貧酸素水塊の厚みが3mありました（図2）。

水温は表層22～24℃，底層17～23℃でした。

※内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

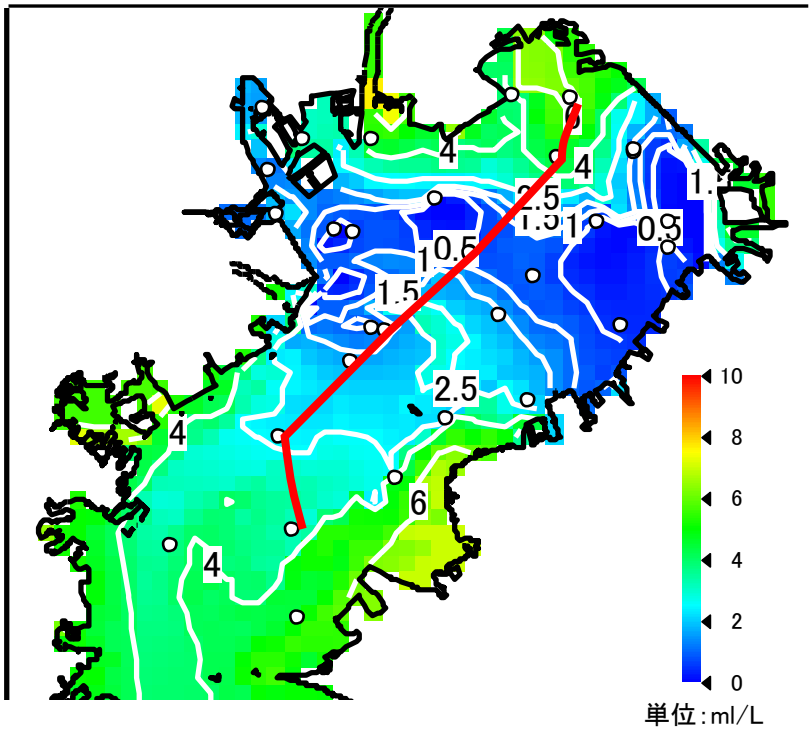

図1　底層の溶存酸素量分布（赤線は縦断ライン）

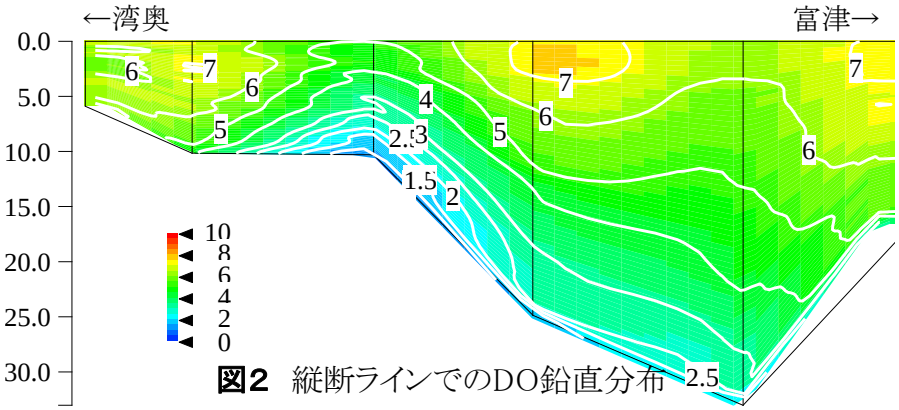

図2　縦断ラインでのDO鉛直分布